





根物抄上巻

黒澤忠三郎 三十八

細川作左衛門

大塚新七郎 三十一

江戸新中隊根物抄上巻

廣中子太助 三十三

鎌田三郎備後守自叙

山口辰三郎 三十一

日守

森 五六郎 三十二

日守

杉山派一平 三十三

根物抄上巻

蓮田市右衛門 三十一

伊守

細川中隊自叙

武蔵野 二十九

成田新中隊自叙

堀潤勇人 三十一

廣末村 三十一

外橋田五郎自叙

稀田市藏 三十八

増子 二十八

三矢 段三郎 十九

海航 三十一

森山 三十一

右内細川中隊自叙 四人所出の法と通し 山内段三郎

根物抄上巻

右内通中隊と通し 山内段三郎 三十一

山内段三郎 三十一

一掃部代根物抄上巻 山内段三郎 三十一



いと申す存ん

一 辰と申す存ん七人、内一人、胸を其の上首と持其の胸に  
往く、内、仙居のト、その七、其の

一 右十七人、内、河内、多、其、過、書、版、二、人、辰、口、に、去、人  
遠、居、其、過、書、版、を、去、人、七、人、存、在、命、を、去、今、其、掃、部、氏  
換、心、依、る、その、事、初、り、由

一 存、首、と、遠、居、其、過、書、版、を、去、人、一、辰、口、に、依、改、首、を、下、り

修、氏  
勝、部、三、希、た、馬

一 右、七、人、存、在、口、に、去、き、又、も、御、老、と、其、口、に、驚、勢、と、右、依、いた、  
い、存、内、服、板、板、下、板、身、と、其、依、り、若、今、今、新、と、其、  
い、付、た、く、件、之、存、在、り、い、合、中、に、依

い、付、た、く、件、之、存、在、り、い、合、中、に、依

一 服、板、換、ら、は、取、次、を、介、り、を、去、り、は、先、に、玉、柳、合、年、口、と、其、  
り、也

一 和、泉、寺、板、心、也 城、を、下、七、板、身、を、八、代、洲、河、原、より、去、り

い、付、其、何、一、且、口、の、多、人、取、と、其、心、依、り、連、り、板、下、の、心、也  
城、を、板、心、の、板、心、依、り、板、心、依、り、多、人、取、と、其、心、依、り、連、り、也

一 右、七、人、存、在、 口、依、り、針、也、七、恨、心、掃、部、氏、板、下、口、恨、心、  
也、り、中、に、依

一 掃、部、氏、換、心、依、り、人、口、に、死、に、介、り、其、更、り、若、十、人、初、口、に、其、  
一 右、七、人、存、在、人、口、に、由、右、七、人、内、其、情、不、知、志、口、に、其、由



水戸極楽寺

大塚利七郎

赤林 五三郎

板山 海一郎

板山 繁之助

右に通り人細川敏中より方下子至掃部政次郎の臺 城掛於

途中乃及傷り致傷 公迎降信を乞ふ所歎成と申す

政次郎四郎と云ふ所將と申す此中同意と云ふ所

し旨

細川柳吉子至山前取と者下申す此の上と云

以玉降二月六日出立一五人より方下止宿仕し朝屯岩山

より因念し者十七人勢合極田の外辻番と相率大深寺山門

より方下の駕籠にたれは仕懸りし者一徳と多人勢立塞

りし舟及率副に因り駕籠に一方の舟人舟並舟の駕籠

船に刺留りし舟首舟取等と揚致し船に引取申す

乃ち十七人より者四人辰より舟首表表の舟入込案因と云

り方下の取次と申す水戸殿家其の舟今井舟掃部政次郎

舟首の舟の取人柳方下子至山前取と云ふ所

石案因舟の方柳下子出

公然の裁許を待たず是れ舟更近し舟の舟首より舟の更



御前より書取られたる御目録に上より出た事

二つ一なり相

松山海一斎

しよし時へんつう暖かん山極りふのあしり小ちる  
七<sup>5</sup>或士

市村山繁とゆ

君り為めひ致さげまのぬのそ人敷ふ入るぞ  
婿しに

或人松平大淵の外様田原を御座候

奥に何事と申と並聞致し候事

○三月十日相合より後二階より上り書取付ありあざい  
し一長く書取付置候おやん舟陸より明えし  
九砂拾人斗抜連とた付た往へ致走足ハとん  
田武三人も切敷さきと申之何事とも同様と申  
當分服と申ども無銭よびり即死より又寝浦  
加藤の不限難大方ありと申れ加藤と目掛  
大兵の男を人中谷の男を人切て急り難符とん  
と殺せり否刀と加藤の中へ指入る人といふ